



(カラパタール 5, 550m 頂上からヒマラヤ連嶺の大展望)

はじめに

2020年3月6日(金)から3月22日(日)までエベレストBC(5364m)とカラパタール(5550m)にトレッキングに行きました。ガイド一人、ポーター一人を雇い、3人で歩きました。

ネパールは6年前の10月に、アンナプルナサーキットとアンナプルナBCをガイドと二人で歩きました。ヒンズー教のダサインの祭りの頃で、村々で生贄の儀式が行われていたことを思い出しました。このときは私がトロンパス(5416m)を超えて一週間後に大雪となりました。雪崩で30人が死亡。100人以上が軍のヘリで救出されるという大事故が起きました。私は命拾いをしました。

今回は、カトマンズ(以下、KTM)行きのチケットをエア・チャイナで購入したのですが、コロナウイルス騒ぎで中国経由のチケットは全てキャンセルとなりました。一旦はトレッキングを諦めたのですが、成田(以下、NRT)からKTM行きの直行便チケットを見つけました。空席があったので予約しました。トレッキングを無事終了後、空港閉鎖やロックダウンのためKTMのホテルに3週間、缶詰になりました。旅というのは面白いものだとつくづく思います。

ここでは、エベレストベースキャンプとカラパタールトレッキングの報告をします。

3月6日(金) NRT→KTM 1330m(標高、以下、同じ)

午後7時。KTM空港着。入国時、全身体温をチェックされます。コロナ対策ですね。ひさしぶりのカトマンズの街はネオンが輝き、明るく感じます。5年前の地震の影は見えません。

8時、Dom Himalaya Hotelに到着。この辺りはタメル地区といい、外国人観光客の溜り場エリアです。早速、KTMのツアー会社Adventure BoundのYさんと打ち合わせをします。ガイドのJさんを紹介してもらいます。21歳。彼は英語を話せるので何とかかなりそうです。経験はあまり無いけど力はあるそうです。約束のシュラフとダウンジャケットを貸してもらいました。

ホテルは快適です。部屋に入り、登山用具をザックとスタッフバッグに詰め替えます。残りはスーツケースに入れ、私がトレッキングから戻るまでホテルに預かってもらいます。スタッフバッグはポータ

一に担いでもらいます。

☁️ 3月7日(土) ①KTM→ルクラ (国内線) 2840m 雨のち曇

4時起床。ストレッチ。パッキングを確認。外は雨。

5時ピックアップ。ガイドのJさんがロビーで待っています。

スーツケースを預け、タクシーで出発。国内線空港に到着。

けっこう乗客が居ます。6時発と聞いていたのですが、8時まで待たされました。

9時。ルクラ空港着(02 ルクラ空港)。この空港は山の斜面を削って作ってあります。滑走路が斜面になっています。スリル満点のランディングでした。今日の行程はここまでなので、Sun Rise Hotelに入り、ゆっくりと休養をとります。小さな町なので散歩したり、絵葉書を買ったりしました。カフェやギフトショップも多いです。少し雨が残っています。4000m以上は雪が降っているとガイドは言います。

夕方、ポーターのKさんを紹介してもらいます。彼は28歳。ガイドのJさんの叔父さんにあたる人だそうです。

夕食はチキングリル。ホットウイスキーが美味しい。3人のイタリア人とガイドたちが一緒にビアを呑みながら太鼓を叩いたり、唄を歌い始めました。彼らはゴーキョから下りて来たそうです。私も仲間に入れてもらいネパールでは有名な曲「リッサン・ピリリ」を大声で歌いまくりました。イタリア人は乗りがいいです。シュラフにインナーを入れシュラフカバーをし、布団を一枚かけて寝ます。湯たんぽを持ってきたので、お湯をもらいます。ホテルの庭は氷が張っています。



(スタッフバッグとザック)



(ルクラの飛行場)

☁️ 3月8日(日) ②ルクラ→パクディン→モンジョ 2600m 6H (所用6時間、以下、同じ) 晴

4時起床。ストレッチ6時。日が登ります。お散歩。ルクラの周りの山々は朝日に白く輝いています。

7時。朝食 (以下、BF)。豆スープが体に優しいです。スクランブルエッグ、トースト、バタージャム珈琲が美味しい。

8時、出発します。昨日の飲み物と湯たんぽのお湯代金 800R を払います。今日は標高を上げないので、ゆっくりと歩きます。ルクラの町の出口にあるTIMS (Trekking Information Management System) 許可証にサインをもらい Tourist Police にも寄ります。道は凍っているので気をつけて歩き始めます。

「例年だとハイシーズンは1日に500人位トレッカーが入るが、今年はコロナウイルスのせいで100人位しかいない」とガイドは言います。このあたりはチベット仏教圏です。タルチョ・マニ石・ストローパが散見できます。Jさんはヒンズー教徒だそうです。

12時、パクディンでランチ。チャオ麺 (焼きそば) を頂きます。ここから右方向に眺めるクスムカンガル (6367m) の迫力が凄いです。オーストリア人の女性と話をします。彼女は一人でガイドを雇い、ナムチェから下りて来たそうです。昨日の雪は酷くて、ナムチェでは1m積もったそうです。しかし、道はついているので心配はないと言っていました。

1時間ほど歩くとタムセルク (6608m) やクンビラ (5761m) も見え始めます。この2000mの辺りから6000m級の山を眺めると迫力が違います。贅沢な道です。15時、モンジョ着。今日はここまで。

Tophill Lodge は心地よいです。今日はドトコシ川沿いに歩いてきました。激しい川の流れが心地よい道でした。明日から稜線が上がります。夕食はダルバートです。ダルバートは豆スープ・野菜炒め・おしんこ・ご飯がセットになった定食です。お代わりが自由なので腹いっぱいになります。



3月9日(月) ③モンジョ→ナムチェ 3440m

4H 晴

昨日のオーストリア人のアドバイスもあったので、一応、軽アイゼンを用意していきます。モンジョの Sagarmatha National Park Entrance で入山料を払います。3000R だそうです。立派な門があり、ここからドドコシ川沿いに下りていきます。雪が残っていますが凍っていないので助かりました。ラジャ・ドブハンで大きな吊橋を渡ります。この橋には強い風にタルチョがたなびいています。



(タルチョたなびく吊橋)

ここから一気にナムチェまで登りになります。地元の人たちでしょうか。チャン（どぶろくのような白い地酒）をがぶ飲みしながら談笑しています。

暫く登ると、エベレストが眺められる最初の View Point がありました。8848mのエベレストが遠くに眺められます。今の登りで汗が酷く出ました。びしょびしょのシャツを替えました。ここでドイツ人の男性と話をします。彼は7週間ネパールの旅をしているそうです。ガイドを雇い2人で歩いています。ナムチェまで行くそうです。67歳と言っていました。リタイアしているので自由人だそうです。

12時にナムチェに入ります。この村は馬蹄形になっています。ボテコシ川が谷になり、コンデリ (6187m) が向かい側に聳えています。谷を挟んで向こう側に見えますが、存在感が凄いです。ここはシェルパの故郷として有名です。昔、植村直巳さんがエベレストに登頂したとき、この村で数ヶ月過ごし、高度順応した所でもあります。

Moonlight Hotel は村の最上部にあるのでけっこう歩きます。ホテルの部屋からコンデリが眺められます。ここでは高度順応のため2日間泊まります。WiFi は有料ですが、ここから奥地は使えないので、新しい情報は入りません。

コンデリ (6187m) の反対側にはタムセルク (6608m) やクンピラ (5761m) が聳え、豪華絢爛です。5日間髪を洗っていませんでしたので、近くの美容室で洗髪だけお願いしました。500R。さっぱりしました。濡れていたヒートテックや靴下を部屋で乾かします。日差しが強く、すぐに乾きます。午後は町中を散歩します。カフェ、ベーカリー、銀行、曼茶羅を売る店もあります。大きな町です。毎週、(金)(土)にはバザールが開かれるそうです。



(ナムチェ。後ろに聳えるのは秀峰タムセルク 6,608m)



3月10日(火) ④ナムチェ 3440m

Hotel Everest View 3880m 往復4時間 晴

8時、BF。ゆっくりと頂きます。

今日は高度順応です。約400m登り3880mの Hotel Everest View に行きます。

このホテルは日本人が作ったホテルだそうです。日本から予約した客しか泊まれないそうです。12室しかなく、豪華な部屋らしいです。確かに高級ホテルです。

ガイドと二人でここのテラスまで行き、ホットチョコレートを頂きました。ポットで410Rは安い。テラスからの展望は素晴らしく、これから歩くクーンブ・ヒマールの谷が一望できます。東側からアマダブラム・ローツエ・エベレスト・ヌブツエ・プモリと豪華絢爛の山々が展開します。多くの観光客が

展望を楽しんでいました。



(Hotel Everest Viewからの展望。左から右へ、アマダブラム、オンビガイチャン、ヒンク・ヒマールの峰々)

驚いたのは、このホテルの手前にヘリコプターが3機止まっていたことです。ヘリでランチを食べに来る客がいたのです。2時間くらいなら、高山病にかかる前に下りることができるそうなのです。KTMやルクラからランチを食べに来る金持ちがいるんですね。

夕食は「ヤクステーキ」です。歯応えがあり美味かったです。ネパールも10日からコロナに感染していないという医者証明がないと入国できなくなりました。実質的入国拒否です。

3月11日(水) ⑤ナムチェ→タンボチェ→ディプチェ 3710m 6H 晴

5時、起床。ストレッチ。7時、BF。8時、出発。

今日はヒンズー教徒・チベット教徒の聖地、タンボチェに向かいます。ナムチェにはポーターKさんの親戚がいるのでその家に寄りご挨拶。珈琲を頂いてから出発します。小学生の女の子が学校に行く準備をしていました。

今日の道は右にタムセルク(6608m)の西壁を眺めながら、北にアマダブラム、ローツエ、エベレストを眺めながら歩く最高の道です。

10時30分、ゴーキョとエベレストの分岐点を通過します。

11時30分、ブンキテンガでランチ。暫く行くとカンテガ(6685m)がタムセルク(6608m)の左側に見えてきます。この山も凄い。贅沢な山行です。

14時30分、タンボチェ着。ここは聖地だけあってゴンパ(寺)も立派です。落雷で火事になりましたが、1995年に再建されたそうです。



(カンテガ 6,685m)

早速、参拝します。僧侶が70人ほど修行しているそうです。

16時、ここから少し下り、ディプチェ(3710m)まで行きます。この下りはアイスバーンになっていました。6本歯のアイゼンが良く効きました。ポーターはアイゼン装着。しかし、ガイドはアイゼン無しで上手に下って行きました。





(前ページのルート図をナムチェ・バザール対岸のコンデより鳥瞰。

目標地点のカラパタール、エベレスト BC はタブチェの奥に隠れて見えない)

ディプチェの Paradise Hotel にはお経が流れていました。ここのオーナーが読経しているようです。宗教心が篤そうです。尼さんの寺がこの近くにあるそうです。チリから来た男性と話をします。彼はサンチャゴから4回のトランジットを経て50時間かけてKTMに来たと言っていました。南半球から来るのは凄いエネルギーです。アコンカグアにはまだ登っていないそうですが、登りたいと言っていました。日本にも来た事があるそうですが、食事がめちゃ高いと言っていました。

ここは寒かったです。部屋の温度は-5℃。水筒をシュラフの中に入れて、窓際に出して寝たら、朝は凍っていました。失敗しました。

☁️ 3月12日(木) ⑥ディプチェ→ディンボチェ 4410m 5H 晴

昨日、羊毛の手袋を置き忘れてきたので、ここで羊毛手袋を買います。1000R。助かりました。このあたりのホテルはどこでも、毛糸の帽子、手袋、マフラーやお菓子、飲み物などを売っています。朝は寒く、道も凍っていました。一応6本歯アイゼンとスパッツを用意します。

日が差し込み始めると気温が上がります。歩き始めるとユニクロのヒートテック一枚で十分です。何頭ものミュール(驢馬と馬の混血)や牛を連れた馬子たちとすれ違います。ミュールに生活物資を積んで運んでいます。例えばプロパンガスボンベや穀物やセメントなどです。彼らが通過するとき、トレッカー達は道を空けて待ちます。多いときは50頭くらい続きます。このミュールや牛たちがネパールの流通を支えているのです。

また、ボッカの男達も多いです。100kg近い材木を運ぶ人がいました。



(ガスボンベを運ぶミュール達)

ショマレ(4010m)でランチ。チキンダルバートを頂きます。骨付きチキンの歯応えが良く鶏の旨みが出ています。ここから眺めるアマダブラム(6856m)が凄い迫力です。Hotel Everest View から眺めた景色がここで大きく広がります。ここでは、家を建築中でした。男性たちがハンマーで岩を砕いて基礎を作っています。



(アマダブラム 6856m が迫ってきた)

14時、ディンボチェ着。Himalayan View Lodge に泊まります。ここは高度順応のため2泊する予定です。部屋も日当たりが良く、早速、靴下・靴・ヒートテックを乾かします。二階の食堂でホットウイスキーを頂きます。効きますね。

台湾から来た2人の男性と話をします。彼らは3パスをこれからやるのだそうです。あとフランス人が5人。かれらはエベレスト BC に行くと言っていました。

カップルのオーストラリア人がいました。韓国からの移民だそうです。彼は8年前、彼女は2年前に移民したそうで、シドニーで知り合い1年前に結婚したそうです。新婚旅行に行っていなかったので、これが新婚旅行だそうです。ペアの毛の帽子とフリースがお似合いです。私の新婚旅行は33年前のKTMとポカラだったと話すに驚いていました。「シドニーの山火事は一つの国が焼けるくらい凄かった。また、その後に豪雨で洪水が出た。気候が異常だ」と言っていました。確かに砂漠の国での豪雨は驚きました。彼らもエベレスト BC まで行くそうです。

このあたりは森林限界を超えています。3800m位で樹木は無くなります。緯度が沖縄と同じくらいなので森林限界も高いのでしょうか。ここは岩と雪の世界です。

Jさんと明日からの予定を考えます。彼はゴラクシェップ(5140m)には長く留まっていたくないようで、即下りたいようです。私の計画では2泊の予定です。これから、詰めたいと思います。



3月13日(金) ⑦ディンボチェ 4410m 高度順応で連泊

ナンガルジュン 5616m 往復 3H 曇りのち雪

高度順応のため、近くの山ナンガルジュン(5616m)に登ります。昨日の台湾の二人も登ったと言っていました。ここに登っておけばカラパタールも随分、楽になるはずですよ。

9時、ガイドと一緒に登り始めます。寒そうだったのでスパッツを付けて登ります。やはり、きついです。呼吸ができない。息を吸い込んでも体中に酸素が回らない感じです。ガイドはダイアモクスを持ってきています。PO(パルスオキシメーター)も持ってきていますが私はまだ使っていません。幸いなことに、高山病の症状は全く出ていません。でも、きつかったです。

風が強くなり、雲が出てきます。雪も降ってきました。2時間ほど登り、5300m辺りで下山します。食堂でランチを頂いていたら、雪が激しくなってきました。裏庭にいるヤクにも雪が積もっています。夕方には激しくなり、20cm位積もり始めました。

雪が少し心配です。ホテルの男の従業員達の姿がなくなりました。後で聞いたら、道を作りに行ったそうです。ヤクを連れて、雪を固めて道を作るのだそうです。ヤクは役に立つ動物です。3月の大雪に、従業員たちも驚いていました。Himalayan View Lodge に泊。



(高度順応でナンガルジェン 5616mに登る)

☁️ **3月14日(土)** ⑧ディンボチェ 4410m 雪

雪のため停滞します。積雪は30cmほどで、登山道も確保されています。1日様子を見ます。午前中で雪も止み、視界もはっきりしてきました。完全冬装備で、ロブチェに行く道の様子を見に行きます。1時間ほど歩くとアマダブラム(6856m)が真っ白になっています。冬に戻ったようです。

何とも贅沢な空間でしょう。カンテガ(6685m)、タムセルク(6608m)、アマダブラム(6856m)が手の届きそうな所にあります。タンボチェピーク(6367m)も掴めそうです。

Himalayan View Lodge に三連泊。



(左：タボチェピーク 6367m、中央：チョラツェ 6335m)

☁️ **3月15日(日)** ⑨ディンボチェ→トクラ 4620m→ロブチェ 4930m 5H 晴のち雪

6時起床。ストレッチ。7時30分、BF。シェルパスープを頂きます。シェルパスープはパスタや野菜屑などを煮込んだスープです。味が濃くて美味しいです。体も温まります。このスープがBFの定番になりました。部屋に暖房は無く、トイレを流す水もガチガチに凍っています。部屋の中-7℃。三連泊したので飲み物と湯たんぽのお湯と酒代金6200Rを払います。少し呑みすぎたようです。

8時30分、出発。この谷は美しい。なだらかなトレイルです。左手前にタボチェピーク(6367m)、左前方にロブチェ(6119m)、そして前方奥にプモリ(7165m)の切っ先が覗いています。快適な雪道を歩きます。

トクラ(4626m)の峠に到着すると200以上のチョルテン(石碑)が建てられていました。



(トクラパス 200 以上の慰霊碑がある)

これはエベレストで遭難したシェルパや事故死した登山家の慰霊碑だそうです。多くの人がエベレストで亡くなったことを実感します。ここを超えるとクンブー氷河の末端になります。氷河の末端といってもモレーンで表面が岩だらけなので、これが氷河とは思いません。しかし良く見るとクレバスがあり、氷が覗いています。

14時、Hotel Mother Earth 着。ホテルの前に鳥が 30 羽ほどたむろっています。こんな所に餌があるのかと思いますが、驚きました。雪が本格的に降ってきました。

 **3月16日(月) @ロブチェ→ゴラクシェップ 5140m 3H**

→エベレストBC 5364m→ゴラクシェップ 5140m 往復4時間 晴

いよいよゴラクシェップ 5140mとエベレストBC 5364m に行きます。7時、BF。シェルパスープを頂きます。体が温まります。7時30分、出発します。道が凍り付き歩き難いです。6本歯のアイゼンが良く効きます。呼吸がきつくなりました。振り返ると、ロブチェコーラ(谷)の遥か向こうにアマダブラム、クンガリ、タムセルクの山々が見えます。前方にプモリ(7165m)、リントレン(6749m)、クンブチェ(6665m)、エベレスト(8848m)、ヌプツェ(7861m)が眺められます。



10時30分、ゴラクシェップ Himalayan Lodge 着。本来ならここは世界中の登山隊が集まる基地になるようなホテルなのでしょう。しかし今シーズンはコロナウイルスのためエベレストは登頂禁止になっています。ホテルはガラガラです。

11時45分、早めにランチのチャオ麺を頂いてエベレストBCに出発します。エベレストの山容が壁のように聳えています。

トレッキングコースは雪も溶け安定した道です。クンブー氷河沿いにトレイルが続きます。このあたりは岸壁と氷壁に囲まれています。ずたずたに切れたクンブー氷河の中を通り抜けると開けた場所が現れます。ここがエベレストBCでした。巨大な岩に赤で EVEREST BASE CAMP 5364m と書かれています。私たちの他に3人のトレッカーがいるだけです。

本来なら、今頃は世界中の登山隊のテントが100以上も張られている場所です。

しかし、今シーズンはノーテントです。

かつて、多くの登山隊や登山家がエベレスト登攀のために、ここにテントを張っていたことに想いを馳せました。テントの張っていないBCなんて有り得ません。何とも贅沢な空間でした。

15時30分 Himalayan Lodge に戻り、ガイドとエベレストビアで乾杯しました。ガイドとの話し合いで明日中にトクラ 4620m まで下りることにしました。やはり高山病対策です。ガイドは「なるべく高地に留まりたくない」と主張します。私も納得しました。



3月17日(火) ①ゴラクシェップ→カラパタール 5550m 往復 3.5時間

→ゴラクシェップ→ロブチェ→トクラ 4620m 5H 晴

5時、ザックに水と珈琲と簡単な食糧を入れ、ポーターのKさんと2人でカラパタール 5550mに向かいます。暗闇の中をヘッドランプで照らしながら岩山を登り始めます。カラパタールというのは「黒い山」という意味らしいです。確かに遠くから眺めるとこの山は黒いです。

6時頃に遠くに見えるアマダブラムの先端に光が当たり光り始めます。続いてプモリの先端にも朝日が当たり始めます。漆黒の空がだんだんと紺になり、青く変化していきます。全く雲の無いエベレストの青空が広がり始めます。

高度を上げていくと、エベレストを中心とした箱庭のような大展望が広がります。早朝のせいかな他に誰もいません。山頂付近に風速計が取り付けられていましたが、



(ロブツェから眺めるプモリ 7165m)



(エベレストBC。奥はエベレスト)



(ゴラクシェップとカラパタール。奥はプモリ)

無風です。風力0の晴天の中、6000mから8000mものGIANTSに囲まれた360度の大展望を楽しみました。

珈琲を淹れ、彼と話をします。家族のこと、仕事のこと。彼は今の仕事に満足しているそうです。6歳の娘さんの成長が楽しみだと語っていました。約1時間も展望を楽しんだあと満足してHimalayan Lodgeに戻りました。

(カラパタール山頂から⇒)



9時30分に遅いBF。シェルパシチューを頂き、パッキングして10時30分に出発します。このエベレストのコースは行きと帰りが同じ道を歩くので気分が楽です。同じ道でも時刻と天気と同じ山の印象が随分違います。それも楽しみです。沢山の慰霊碑のあったトクラの峠で、馬に乗ったトレkker達とすれ違いました。馬子が引いています。一人2日で\$300だそうです。勧められたので「10年後にまた来るようだったら、乗りたいね」とガイドに話しました。

15時30分、トクラ Yaku Lodge 着。

このロッジからタボチェピーク(6367m)とチョラツエ(6335m)が聳えているのが見えます。見上げるという方が良いです。首が疲れるほど高いです。ここのロッジも寒かったです。トイレは凍っているし、部屋の中も氷が張っていました。湯たんぽが大正解です。本日は9時間近く歩いたので、熟睡しました。

3月18日(水) ⑫トクラ→ディプチェ 3710m 6H 晴のち雪

今日もどんどん高度を下げます。登りで2日間かけた道を1日で下るというペースです。ペリチェでヘリコプターが病人を運ぶところを目撃しました。ここにはメディカルセンターがあります。

13時、パンボチェ 3939mまで下ります。途中で荷役用の牛が死んでいました。まだ死んだばかりのようで道の真ん中に横たわっていました。これから片付けるのでしょうか。周りには人が誰もいません。



(↑ヘリで病人を運んでいた)

(↓3700m 辺りでも牛が荷を運ぶ)



空気が濃くなっているのを感じます。樹林帯になってきました。石楠花も多くなってきました。このあたりは一週間前に歩いた道なので懐かしいです。雪の量も減っています。

15時、ディプチェの懐かしのParadise Hotel着。今日も読経が流れています。スマホの充電をしてもらいます。酒のつまみにポップコーンを頼んだら、山盛りで出てきました。

夕方、また雪が降ってきました。ヒマラヤの天気は侮れません。

バルセロナから来た男性と話をしました。彼はバルセロナの南にある小さな島から来たそうです。私とほぼ同じコースを歩いてきたと言います。明日ナムチェに帰るので、情報を知りたいと言っていました。

ここではまだ、WiFiは使えません。私も同じ気持ちです。彼はエミレーツ航空でKTMからドバイに飛び、バルセロナに戻りたいと言っていました。スペインは帰国禁止にしているのではないかと心配していました。



3月19日(木) ⑬ディプチェ→タンボチェ→サナサ→ナムチェ 3440m 6H 晴

7時、BF。シェルパシチューを頂き温まります。

7時40分。出発します。昨夜の雪は殆ど積もりませんでした。外はうっすらと白く、道は凍っています。アイゼンが良く効きました。

8時20分、タンボチェ着。3860m。朝日にゴンパ(寺)が輝いています。修行僧がいます。

振り返ると北にアマダブラム、ローツエ、エベレスト、ヌブツエが白く輝いています。クーンブ・ヒマールの谷の眺めはこれで見納めでしょうか。

30分以上山を眺めながら佇みました。南にはコンデリがナムチェの向こう側に光っています。



(タンボチェのゴンパ)

11時30分、サナサでランチ。ダルバートとマッサラチー。14時、ナムチェ Moonlight Hotel 着。8日ぶりに帰ってきました。やはりナムチェは大きな町です。毎週(金)(土)はここでバザールが開かれ、近所の村から何日もかけて売りに来る人も多いそうです。都会に出てきたような気分です。明日は楽しみです。

ガイドとポーターの3人で乾杯します。グルカビアは美味しい。今日の部屋は4階で、トイレトペーパーがついています。驚きました。紙付きトイレは初めてです。電源もある特別室です。3階がキッチンなので、ここの部屋が暖かいです。早速、シャワーを浴び、洗濯をします。ここには3連泊する予定です。シャワーは熱く、髪も洗います。しかし10分しか湯が出ません。500R。タオルは200Rです。8日ぶりにWiFiが繋がったのでメール、フェイスブック、ラインをチェックします。

日本はコロナで大変な状況になっているようです。入国も厳しくなっているようです。



3月20日(金) ⑭ナムチェ 3440m 連泊 晴

9時、BF。シェルパシチュー。朝日の射す部屋で、ゆっくりと食事をします。楽しみにしていたバザール巡りをします。けっこうな人が出ています。案内してくれたJさんは「今日は人出が少ない。コロナのせいだろう」と言います。私はヤクチーズとオレンジとピーナッツを買います。犬も暇そうに寝転がっています。近くのカフェでトンバ(ネパールの酒)を呑みます。この酒は薄く、ストローで呑みます。お湯を足しながら呑みます。薄いのでなかなか酔いません。でもだんだんと心地よくなってきます。Adventure BoundのYさんと連絡を取ると、KTM国際空港は今封鎖されているそうです。国内線はまだ大丈夫だそうです。ネットで調べるとネパール航空の事務所も閉鎖されています。私の帰国のチケットは使えなくなりました。



(この3枚、ナムチェのバザール風景)

午後はシェルパ・カルチャーミュージアムに行きます。ここはヒラリーが1953年にエベレストを登頂したときのキャンプ地だった所だそうです。1960年～80年の各国のエベレスト登山隊の出発基地として使っていた場所だそうです。今は、ホテルとなりミュージアムにしているとのこと。経営者は写真家でヒマラヤやシェルパの生活の写真などが飾ってありました。



夕食は「チャオ麺」と「スプリング・ロール」を頂きました。20時、Jさんが部屋にやってきて「ルクラからKTM行きの飛行機が飛ばなくなりそうだ。22日が最終日になる。」と言います。なので、明日ルクラに戻らないとKTMに戻れなくなります。これでは帰国できないので急遽、明日ルクラに戻ることになりました。本当なら2日かけて戻る予定でしたが1日で戻ることになりました。ナムチェも今日で切り上げます。少し気持ちがざわついてきました。

3月21日(土) ⑮ナムチェ→パクデン→ルクラ 2840m 9H 晴のち雨

7時、BF。シェルパシチューを頂きます。7時30分、出発。

ナムチェから下山するとき、小さい子ども連れの家族が何組も登ってきます。ガイドに「何であんなに沢山の家族が登ってくるの。大きな祭りでもあるのかな？」と聞くと、「彼らはKTMから逃げてきた。親戚の家に行くのだ。」と言います。何で逃げてきたのか、その理由はわかりませんでした。KTMは24日からロックダウンが始まるのでした。街の人々は閉鎖されることを知っていたのかも知れません。さすがに今日は疲れました。

午後は雨が降り出しました。雨具を出したり、傘を出したりと慌しく歩きます。道は2週間前に比べ暖かく雪も氷も溶けています。ぬかるんでいます。青いお花も咲き始めています。春が近づいています。

17時、ルクラ Sun Rise Hotel 着。3人で打ち上げをします。グルカビアが浸みます。ここでポーターのKさんとはお別れです。感謝の気持ちをこめてチップを渡しました。

Yさんの話だと3月いっぱい、KTM国際空港は封鎖されるとの事です。私の帰国便は3月27日なので帰国できなくなりました。ガイドから「明日の6時のルクラKTM便のチケットが取れた」と連絡がありました。取敢えずKTMに帰ることができます。綱渡りです。

3月22日(日) ⑩ルクラ→KTM (国内線) 1330m

5時、起床。7時50分、ルクラ発。8時30分、KTM 国内線空港着。国際線は確かに閉鎖されています。Dom Himalaya Hotel に到着。

夕方、ガイドのJさんと Adventure Bound のYさんの3人で打ち上げをやりました。古いチベット料理屋「ウツツエ」で「ギャコク」という鍋料理を頂きます。鶏肉、山羊肉、豆腐、野菜類が入った美味しい鍋でした。トンバやロキシーも美味しい。

Jさんは4歳の娘がいるとの事。高校3年生のとき同級生と結婚して生まれたお子さんだそうです。

22歳で4歳の子持ちとは凄いです。ガイドとマンツーマンで歩くと、臨機応変に対応してもらえるのが良いです。

予定の日程を、雪降やコロナの事で都合よく変えてもらいました。密に連絡を取り合えたのも良かったです。また、山岳同定も楽でした。

「あの山は、何ていう名前？」と聞くとすぐに返事が返ってきます。同じ山でも見る方向で形が変わります。即、同定してくれたので有り難かったです。

ポーターも、雇って正解でした。スタッフバッグの中には「シュラフ、シュラフカバー、インナー、ピッケル、ストック2本、6本歯と12本歯アイゼン、テルモス、薄いダウン、着替え」などを入れていました。結構な重さだったので助かりました。高山病にもならず、病気や怪我もせず、快適なトレッキングができたお礼を言います。

Jさんに感謝の気持ちを込めてチップを渡しました。無事トレッキングは終了しました。

終わりに

ここで、Yさんに情報をもらいました。

KTM 国際空港の閉鎖は3月22日から4月12日までに延長になること。(この後、更に4月30日まで閉鎖が続くことになります。)

ネパール航空の帰国便のチケットのキャンセルと再予約の件(23日にチケットのキャンセルと再予約をしたのですが、チャーター便で帰国したためこのチケットは無駄になりました。)

KTMにこれから3週間滞在するホテルの確保と契約の件 (Dom Himalaya Hotel に3週間滞在する契約を結びました)。(このホテルは食事が美味しく、サービスも良く快適な生活でした。)

ついに、24日から、KTM はロックダウンに入りました。私は、4月10日にチャーター便が出るまでホテルで缶詰生活になりました。



(チベット料理屋で打ち上げ)



(「ギャコク」というチベット鍋)

2020年4月23日記

↓次頁に行程表、現地ツアーリスト、所要経費を記載

EVEREST BASE CAMP & KALAPATTHAR PEAK TREKKING

期間 2020年3月6日(金)～3月22日(日) (17日間)

| 日時 | 行程 | 宿泊先 |
|----------|---|---------------------------------------|
| 3月6日(金) | NRT13:00 発 RA434→KTM18:25 着 | カトマンズ泊 DOM HIMARAYA Hotel |
| 7日(土) | ①カトマンズ→ルクラ (国内線) | ルクラ泊 Sun Rise Hotel 2840m |
| 8日(日) | ②ルクラ→パクディン→モンジョ 6H | モンジョ泊 Tophill Lodge 2600m |
| 9日(月) | ③モンジョ→ナムチェ 4H | ナムチェ泊 Moonlight Hotel 3440m |
| 10日(火) | ④ナムチェ Everest View Hotel 4H | ナムチェ泊 Moonlight Hotel 同 |
| 11日(水) | ⑤ナムチェ→タンボチェ→ディプチェ 6H | ディプチェ Paradise Hotel 泊 3860m |
| 12日(木) | ⑥ディプチェ→ディンボチェ 5H | ディンボチェ泊 Himalayan View Lodge 4410m |
| 13日(金) | ⑦ディンボチェ 高度順応 ナンガルジュン 5616m 往復 3H | ディンボチェ泊 Himalayan View Lodge |
| 14日(土) | ⑧ディンボチェ 降雪のため停滞 | ディンボチェ泊 Himalayan View Lodge 4410m |
| 15日(日) | ⑨ディンボチェ→トクラ→ロブチ 5H | ロブチ泊 Hotel Mother Earth 4930m |
| 16日(月) | ⑩ロブチ→ゴラクシェップ →エベレストBC 5364m →ゴラクシェップ 7H | ゴラクシェップ泊 Himalayan Lodge 5140m |
| 17日(火) | ⑪ゴラクシェップ →カラパタール 5550m 3.5H →ゴラクシェップ →ロブチ→トクラ 5H | トクラ泊 Yaku Lodge 4620m |
| 18日(水) | ⑫トクラ→ディプチェ 6H | ディプチェ泊 Paradise Hotel 3870m |
| 19日(木) | ⑬ディプチェ→タンボチェ→サナサ →ナムチェ 6H | ナムチェ泊 Moonlight Hotel 3440m |
| 20日(金) | ⑭ナムチェ | ナムチェ泊 Moonlight Hotel 3440m |
| 21日(土) | ⑮ナムチェ→パクデン→ルクラ 9H | ルクラ泊 Sun Rise Hotel 2840m |
| 22日(日) | ⑯ルクラ→カトマンズ (国内線) | カトマンズ泊 DOM HIMARAYA Hotel |
| 23日(月) | 空港閉鎖が3月24日～4月30日 となる。 | カトマンズ泊 DOM HIMARAYA Hotel |
| 24日(火) | Lock Down が3月24日～4月30日 となる。 | カトマンズ泊 DOM HIMARAYA Hotel |
| 4月10日(金) | チャーター便 KTM 20:00 発 RA4331 | |
| 4月11日(土) | →NRT 6:00 着 | |

Adventure Bound Pvt. Ltd

Paknajol Marga, Thamel, Kathmandu, Nepal

Mail info@adventureboundnepal.com

Tel +977 1 4257308

費用 ガイド、ポーター、宿泊食事代、飛行機 NRT・KTM 往復、嗜好品・土産・チップ 他
計¥402,800

(本稿 了)